



徳嶺勝信

10月のベトナム南部ホーチミンは雨期が終わりに近づくが、年間で一番激しい雨が降る。9月末にもラッシュ時の夕方から3時間程で130ミリの雨量があった。満潮とも重なり数力所で30ミリの冠水があり、バイク駐車場では千台余りが水につかった。ホーチミンは台風が上陸する事はないが、この時期の大雨には注意が必要だ。

今回はベトナムホーチミンの日本志向について報告する。8月の訪日ベトナム人は前年同月比24・9%増の1万7200人で8月としては過去最高を記録した。訪日ベトナム人は2012年1月から56カ月連続で各月の最高値を更新している。年初8カ月では15万8600人と28・4%増となった。

東南アジア諸国連合(ASEAN) 諸国からの訪日ではタイ、フィリピンに次いで3番目だ。ビザの規制もあるが、近年の訪日の伸びには勢いがある。ちなみに昨年1回だけ月間の爆買いでトップになった事があった。

もともと旅行好きな国民で会社

訪日客沖縄へ 仕掛けを ベトナム

の慰安旅行も定番。ベトナム国内やASEAN諸国へもよく旅行する。観光立県の沖縄も早めに来沖に取り組む必要があると思う。

日本志向として一番関心が高いのが日本食だ。すし、刺し身は定番で、最近ではうどん、ラーメンの人気も高い。若い人たちには、たこ焼きやお好み焼きも人気だ。

変わったところでは、和菓子作りの教室や日本の礼儀作法の教室もはやっている。まんじゅうなどの和菓子は比較のお土産で好まれるので理解できる。礼儀作法は日系企業への就職もしくは日系企業で働いている社員がスキルアップのために習っている。

若い女性には美白効果や肌荒れを抑える化粧品、日焼け対策用品が支持されている。最近では日傘も見かけるようになった。もともと傘がない国だったのでこの変化には目を見張るものがある。もう少しファッション性がある日傘など仕掛け処はある。

WiFiインフラが日本より整備され、SNSなどの情報共有が速い国なので、海外からの情報をいち早く察知し、取り入れながら経済が発展しているところが面白い。日本や海外ではなかったのが市場として試せる時期になってきた。(ベトナムJES代表)

次回は韓国の大嶺浩次・世一旅行社販売課次長です